

脱縦割り! 食でつながる、いつでもだれでも

森 亮太 ●いつだれkitchen 代表



要旨

食材の多くを「頂きもの」で、お代は払っても払わなくても、いくらでもOKの「投げ銭」制のコミュニティ食堂。この施設として木曜昼の通常営業に加え、休日や夜間などの追加営業を行うことで、より多くの方々と「食」でつながる、ごちゃまぜな出会いとコミュニティの創出を目指したが、新型コロナウイルス感染症拡大の中、通常営業すらままならない1年だった。

自粛期間におけるテイクアウトやお越しになられる方々との会話を通して、コロナが与える影響の深さを感じ、より一歩進んだ「withコロナ」におけるつながりの重要性を考える機会ともなった。それとともに「自分たちに何ができるのか」、コロナ禍にあっても人とのつながりや暮らし、心身の健康をキープする方法を模索していきたいと思っている。

1. 背景と目的

食で防ぐ「孤独と孤立」

「いつだれkitchen」は、食材の多くは頂き物で、お代は払っても払わなくてもいくらでもOKの「投げ銭制」のコミュニティ食堂を、2019年4月から運営している。スタッフの多くは福祉や介護の専門職で、ボランタリーに毎週木曜昼のみ営業している。

コロナ以前は、毎回100名を超える老若男女の皆さんが、食を通じて“ごちゃまぜ”に集まっていた。投げ銭制なので経済的な理由を気にすることなく、またプロの飲食店ではないので、お店や他のお客さんを気にすることなく、ありのままの自分で居ていい場所だ。そして、そこに食事もある。

そんな「いつだれ」だからこそ、食を通じて、温かい料理だけでなく温かくなる気持ちまで共有できたら、「孤独・孤立」の防止に少しでもお役に立てるのではないかというのが背景と目的である。

2. 活動の方法

コロナに見舞われ続けた1年

通常営業は木曜昼のみ。平日の昼は、行きたくても行けないという声が多く寄せられていたことから、土曜に追加で開いてはどうかという考えだった。だが、新型コロナウイルス感染症の拡大(2021年5、6月の第4波、7～10月の第5波、22年1月～現在の第6波)により、杉浦記念財団の助成活動期間のほぼすべてが感染の波に飲み込まれた。福島県いわき市でも緊急事態宣言やまん延防止等重点措置下、木曜の通常営業すら、1年を通して十数回しか営業できず、本来計画していた土曜

の追加営業は全く行うことができなかった。

ただ、感染拡大の波と波の間(2021年7月、同年10月～22年1月中旬)の期間のみ通常営業を行うことができた。ただこの期間も水曜日のカフェ営業、また金曜夜の営業を10回ほど開くことができたにとどまった。

3.現状の成果・考察

コロナにすべてを奪われないように

コロナ禍による自粛期間中も、多くの方が「今日は営業していないんですか」と来訪され、そのたびにお断りするのが心苦しい思いであった。一方、感染が収まり、ようやく営業を再開できても、以前ほど多くの方々がお越しになるというわけではなかった。

中間報告でも記載したように、テイクアウトにおける食数の増加、それに反比例するかのような投げ銭の減少。コロナ禍でのいわき市民の暮らしの苦しさのほんの一端を、食を通じて感じていたが、いざ再開しても密や接触を避け、「いつだれ」にお越しになる方は多くない。

「暮らしは苦しい。でも密や接触は避けたい」。この2つが、どれだけ日々の暮らしを、

心身の健康状態を苦しめているのか。依然収束の見えないコロナ禍だが、感染を恐れるあまりに、人とのつながりや私たちの暮らしや健康

のすべてが奪われかねないのではないかと感じている。感染を回避しつつ、今よりも少し「withコロナ」の暮らしを社会全体で進めていかなければならないフェーズだと考えている。



4.今後の展望

それでも諦めずにつながり続ける

コロナ禍により通常営業はままならなかったが、寄せられる食材や支援は、その数もボリュームもありがたいことに増えていった。市内の大手企業がSDGsの観点からご支援を申し出てくださったり、学校の休止に伴い、余った給食のパンが寄せられたり、また、地元テレビ局が特集を組み放送して下さったりと、感謝し切れないほど多くのサポートをいただいた。

通常営業できていない中であっても増え続けるご支援。コロナ禍が与える暮らしへの深い影響。この2つの事柄は、コロナ禍にあっても諦めず人や社会、暮らしとつながり続けることを、私たちに指し示し、鼓舞してくれているのではないかと考えている。世界中が今なお苦しむ中、福島県いわき市の小さなボランティアなコミュニティ kitchen が、画期的な何かを思いつきアクションできるわけではないが、少なくとも、いわきに暮らす方々のために、諦めずにつながりをキープできる道を、「食」を通じて、模索し続けていきたい。

